

言わしてごしない EPISODE 8

～中央会はなんのため？～

もうすぐ中央会在籍4年となります。この4年間の活動を振り返り、いまさら何を、と果れられそうですが、改めて自問してみたいと思います。立派なことを書こうとかオチャラケようとか思いません。素直に自分の胸に手を当てて考えてみることにします。

まず、自分にとって会の活動が役に立ったと思えることは何か？ひとつには交際範囲が格段に広がったことです。会の中の人脈だけではなく、委員会や関会の活動を通じて知り合えた人たちが何人もいます。会社や商売の延長線上では決して出会えない人ばかりです。謙虚にこのことの意味を考えると、その価値は大変なものです。大きな財産です。

その次に気づくのは、自分の活動フィールドも社内から飛び出して、広がったこと。私にとってその最たるものは「トリアスロン」です。家と会社の往復だけでは、この苦勞も喜びもなかったでしょう。同じ人生なら、いろんな経験をしてみたい、いろんなところにも行ってみたい。チャンスをもらったと感謝しています。

三つ目は、知識の幅が広がったことです。例会・委員会で取り上げられるテーマは、直接には仕事や生活に影響するものではないかと思えます。けれども、「学ぶ」ことはいつであれ、何であれ、自分を高めるものだと信じています。立派なことを書かないといった割には、えらそうなることを書いたようにも思いますが、素直にそう感じています。

役に立つと思う反面で、時間的制約という問題も出てきます。時間はみな平等にしか与えられていませんから、増やすことも減らすこともできません。中央会活動に時間をとれば、仕事から離れなければなりませんし、生活時間にも影響します。これは自分のことだけではなく、職場や家庭にも影響することです。中央会活動で犠牲になる面です。例会や委員会にすら「忙しいから」という理由で欠席を繰り返す会員は現実にはいます。実際に「とても中央会の活動どころではない」、という方も中にはおられるでしょう。「忙しい」のはみんな同じなんですけどね。「意識や価値観の違い」といえばそれまでですけど…

何事も役に立つ面と、制約を受ける面とありますが、いずれにしても、いまの自分より少し背伸びをする（少しだけムリをする）ことが、自分を成長させてくれるものだと思います。

今一度自らに問い掛けてみてはどうでしょうか。「中央会はなんのため？」

(島山 広幸)

祝 荒川会員 結婚！！

Q) 彼女について教えてください

A) 荒川「名前が「ゆみこ」と言います。ゆみこ「ゆみこです」

Q) 付き合っただけですか？

A) 荒川「いい娘がいるよ」という話から。去年、花を一緒に見に行った頃からメールでやりとりするうちに深く中へ発展」

Q) 彼女のどこに惚れましたか？

A) 荒川「愛嬌のあるところが。優しいところも。ゆみこ「まあ、ありがとうございます」

Q) プロポーズはどこで何とおっしゃいましたか？

A) 荒川「ある小屋の中で「僕と結婚してください」と言いました。ゆみこ「その後も、たくさんしてます」

Q) 結婚後幸せすぎて、中央会活動に支障をきたしませんか？

A) ゆみこ「よく仕事をし、出張先の隠岐の島から帰って、まず私と出かける」

Q) 中央会の皆さんに一言お願いします

A) ゆみこ「一度泥酔させてみたいですね。どうなるのでしょうか？中央会の皆さん教えてください。どんな行状をしているのでしょうか？逐次報告を！」
荒川「いや…まあ、僕から後で…」

3月例会案内

とき 平成15年3月17日(月) 18:30～

ところ 米子コンベンションセンター(ビッグシップ)

小ホール

(会場が変更になっておりますのでご注意ください！！)

講師 鳥取県西部県民局 局長 磯江俊二氏

演題 市町村合併による企業のメリット、デメリット

3月役員会報告

役員会が平成15年3月3日(月)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 3月(臨時総会)、4月(臨時総会)例会開催の件
- (2) 副会長指名推薦の件
- (3) トリアスロンの件
- (4) その他

※この紙は再生紙を使用しています。 ※環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。

なぜか再登場 中央会ふりーうえい



高村先生の海外旅行怖いお話し

うちの奥さんのお友達の話しです。一家6人(夫婦十子二人十妻の両親)で昨年末にオーストラリアに旅行に出掛けた時の事。シドニーで奥さんのお母さんが転んで、左腕を骨折してしまったのだ。複雑骨折の為、手術が必要。手術は全身麻酔をかける為いろいろ検査をしたら、「心臓の血管が詰まっているのでバイパス手術が必要！」との診断。慌てて「日本で手術を受けますから帰ります。」と訴えたら、「こんな重病人を飛行機に乗せるなんてとんでもない。どうしても帰るのなら、医師と看護師の付き添いを付けてください。」との事。今回全く不注意な事にお母さんだけが海外旅行傷害保険に入っていないのが、入院費・治療費など全額自己負担！部屋代だけで一日15万円！手術代だけで何百万円！一ヶ月入院したら部屋代だけでも450万円！！どう考えても、医師と看護師を付けて帰った方が安かろうと言う結論に。(こういう時の為に、患者を海外に搬送する事を仕事にしている人があるんだぞうだ。それだけ、海外で病気が怪我をする人が多いって事なんだろう？)結局、向こうで11日間入院した後、医師・看護師付きで無事日本に帰り、心臓のバイパス手術と腕の複雑骨折の手術を受けられたようです。



この話を聞いた時、「うちげだつたらどげんなつちようだあか。」と思うと「ゾッ？」とした。皆さんも、海外へお出掛けの際は、くれぐれも保険の加入をお忘れなく！！

勝負 自己との戦い、要は人なり 「想いを形に」

2003.3.3 No.183

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷社

浜田一哉会員次年度西部会長に！ 次年度県会長に市位清明会員を推薦！

平成15年2月17日(月) ホテルサンルート米子にて臨時総会が開催され、次年度会長に浜田一哉会員を満場一致で承認、次年度県会長に市位清明会員を満場一致で推薦した。

浜田会員は、平成4年1月入会、平成11年、13年に副会長を歴任、市位会員は平成5年7月入会。平成10年に副会長を歴任。両会員とも西部会長、県会長にふさわしい見識、実績の持ち主である。

経済環境が厳しさを増す中、両会員の活躍を期待するとともに会員諸氏が一致団結して中央会を盛り上げていくことを期待したい！！



人物データ

	浜田次年度会長	市位次年度県会長候補
尊敬する人	父でした(12年前に死去)	おやじ
趣味	釣り、ソフトテニス。趣味ではありませんが、お付き合いで合唱(混声3部)もしています	特になし
座右の銘	特にありませんが「縁」と「つながり」を大切にしています	「一期一会」
家族構成	母、妻、長男(高1)、次男(小6)	父、母、妻、長男(18歳)、長女(15歳)
略歴	1960年外江生まれ外江育ち、境高校、日本大学で建築を学ぶ米子の小野工務店に就職 18年前より現在に至る	昭和56年 中京大学商学部卒 昭和59年 「みどり商事」創業 現在に至る
好きなタレント	中島みゆき (30年程前、ヤマハのポップコンに登場して以来のファンです)	特になし
過去に悪いことをしましたか	中学校2年の時、親友に「好きな娘がおるけんペンダント渡してくれ。」と頼まれ、「そんなものは自分で渡すべきだ！」と言い張り、その後1年間一言も口を利かず絶好した事	自分ではわかりません
過去に良いことをしましたか	昨年の秋、事務所に1本の電話が鳴った。「とにかく2,3日でもいいから仕事で使ってもらえませんか？」と少しいかつい感じの声。まあそのくらいならばと、断ればよいものを境港市役所で待ち合わせをしてしまった。一目見て悪い予感も当たってしまった。聞くと刑務所を出所し大阪へ行ったが職はなし、こちらでもみんな拒否され話も聞いてもらえず、郷里の小倉へ帰りたいが所持金は底をつき2,000円ほどしかないらしい。さあ大変なことになってしまったと後悔したが、先に立たず。車に乗せて話をし、まあ面倒見るしかないかと腹をくくったその時、「やっぱり迷惑をかけると思いきや、駅まで送ってもらえませんか。」と彼は口にした。私はほっと胸をなでおろしたが、なんとなくかわいそうに思い、少しの金を渡して彼と別れた。無事にたどり着けたのかな？とまあ良いことかどうかわかりませんがそんな事がありました。	今も昔も人に喜んでもらえるよう心掛けています
良く行くお店は(飲み屋中心に)	以前は結構あったんだけど、今は「アールグレイ」かな。飲み屋以外では「ながえや」とか「かめや」はよく行きます	まんべんなく、いろいろなお店に顔をだします

2月例会報告



演題「経営環境の変化にどう対応するか」 —潰れる会社・生き残る会社—

講師 元ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 都築 幹彦氏

ヤマト運輸は、昭和51年に、国内初の「クロネコヤマトの宅急便」を開始。免許問題等で、運輸省・郵政省・警察庁と折衝しながら規制という厚い壁と戦い、ついに47都道府県の免許を取得することによって全国ネットワークシステムを作り上げた。宅急便の取扱い数量は、初年度170万個に過ぎなかったが、平成13年度は約9億5千万個に達し、郵便小包・ペリカン便を大きく引き離して業界トップの位置を占めた。今では、南は鹿児島県～東は関東一円は翌日には配達ができる。常にお客の立場にたったサービスを考えている。

当時、運送業界は日ノ丸西濃・福山通運・日本運送がAクラスで、ヤマト運輸はCクラスだった。お客様は法人企業であり、個人はお客様ではない・荷物を翌日には配達することはできないという運送業界の常識があった。そこで、今まで自分が持っている常識を改め、発想の転換をして宅急便をヤマト運輸が新規事業として取組み始めたが、役員・労働組合から猛反対され、一時は諦めかけたが執念で成し遂げられた。

経営のポイントとして

1. 商売の原点は、お客様との信頼関係である(最大の経営の基本)
2. 情性の経営(ほとんどの負組会社が情性である)
3. 人の問題(社員が会社に対して危機感を持っているか。)

最後に、経営の入口として、全員が本気になって企業・お客様の立場になって考え、社員の資質を高め、他と差別化し、トップがまず先頭に立って(経営の出発は信頼、利益は終点)経営をすることが大切であると締めくくられた。

(金田 和成)

委員長交流会開催

平成15年2月8日・9日の両日、東伯郡三朝町のプランナール三朝に於いて東部・中部・西部の委員長を一同に介して委員長交流会が開催された。

交流会当日は天候もよく、三朝までの2時間余りのドライブ、余裕を持って出発したつもりであったが、到着してみれば開会時間ギリギリであった。

大津県会長の挨拶につづき、各地区委員長の自己紹介がおこなわれ本題に入っていく「青年中央会活動における活性化策」と題して東部・中部・西部の委員長混合による3班に別れてのグループ討議が県出向役員退席後委員長だけでスタートした。

各地区委員長が抱える問題は、やはり皆同じ様な事に苦勞しているようである。委員会・例会の出席率の向上、会員増強、等々…熱い討議が活発に行われていくうちに地域が違えば色々との運営方法が違う点に分かってきた、何点か挙げてみよう。

①委員会の時に懇親を深めるために酒を飲みながら開催するようだ。

会員の中にはそれを目当てに出席する人もいるらしい

②新入会員の獲得方法も違って人数目標が有り、達成した委員会には報奨金を出しているとのこと。

③同好会が有るのは西部地区だけである。

参考になる意見が多く話し合わせ、グループ報告の発表で「大人の会として学ぶべき時は学び、遊ぶべき時は遊ぶ」と締めくくった。その後、各地区委員長同士の親睦を図るために懇親会が開催された、やはり酒が入ると場の雰囲気が一気に和み県出向役員・各地区委員長・コンパニオン?入り乱れての大宴会モードに突入!あちこちで一気飲みが始まりました。

写真



楽しいひと時は、アツと言う間に過ぎていき懇親会の中締めとなりまだまだ飲み足りないメンバーが懇親会会場を後にして、大津県会館をリーダー?に夜の三朝に繰り出して行った。一部の会員はその後倉吉にも出現したらしい。(乱れ過ぎて記憶の無い県出向役員・委員長がいたとかいえないとか、名前を出すのは本人の名誉のために止めておこう。)

今回初めて委員長交流会に出席して新たな仲間との意見交換、親睦が図れ大変貴重な経験をさせて頂き有意義な交流会であった。

(小原 伸夫)

5大副会長 想いを語る!

副会長にこれまでをふりかえっていただき、ラストスパートへの想いを語っていただきました。

- Q1) 任期後半を過ぎましたが、これまでの振り返りの感想をお聞かせください。
 Q2) 副会長として一番苦勞されていることは何ですか?
 Q3) 副会長としての自己採点は何点ぐらいですか?
 Q4) 最近の中央会に問題点があるとすればどんな点だと思いますか? (辛口でお願いします)
 Q5) 今年度ラストスパートに向けての意気込みをお聞かせください。



山本副会長

- A1) 2回目の副会長就任という事で、自分的にマンネリ化にならず情性に流されない様にと考えて三役を務めてきたつもりではあるが、どこまで責務が果たせたかは疑問符を付けざるを得ない。ただ幸いな事に委員会活動においては、担当委員長・副委員長の個性とバイタリティに恵まれずまずの及第点を付けることが出来た感がある。次年度へのスムーズな引継ぎが出来ると、今一度自分自身に克を入れて、役員会・委員会活動において残時間の任にあたりたい。
- A2) 会長と委員長の間において、又三役会と役員会の間においての潤滑油的な役割を果たそうとする事。
- A3) 65点。自分自身に対する喜びと達成感が一つ。
- A4) まず第一に、本業の会社活動・経営活動に力を注ぐ事。会の活動については、例会・委員会の積極的な参加はもちろんであるが、当年度役員以外の会員も中身の濃さを増す研鑽を積んでほしい。あなたは、オリエンテーションを受講しなくても中央会に理解がありますか?
- A5) 次年度の四役が決定される時期になったが、当年度の三役の影が薄れないように当初の目標に向かって会・委員会の活動が達成されるように努力する。



小椋副会長

- A1) 現実、あっという間に時だけが過ぎてしまったような気がしています。一応西部の副会長と言う立場にいて、自分なりに会の運営等考えてスタートさせて頂いたつもりが、全く実行に移せなく、会長をはじめ他の副会長並びに会員さんには大変ご迷惑をお掛けしてと後悔しております。ある意味、会員百数十名のナンバー2的な位置に居りますが、私には重責であったのかなーと思うこの頃です。
- A2) 仕事柄、なかなか設定された日時に完全なる出席が出来かねること。会全体と他団体・その取り巻きの地域的な情報不足な所。
- A3) 自己採点は40点程度だと考えます。
- A4) この時節柄、会費の未納者が多発している現状を踏まえ、原因追求し、諸事情を考慮し色々なパターンで会員が会費納入しやすいうようにあげればと望みます。会員全体がいっしょくせず、現状より若者らしくコミュニケーションできるような会が存在すれば良いと考えます。
- A5) あと四ヶ月しかなくなりましたが、当社の事業もさることながら多少なりとも気持ちに余裕を持って、自分なりに会の為に全精力を傾けていきたいと考えております。



夏野副会長

- A1) 準備不足のまま新年度に突入した気がします。三役間での協議不足もあり反省しなければならないことも多々あると思います。役員会で怒ったこともあります。会の運営を思っていることです。キム・ジョニルのような大きな顔とミシュランタイヤのキャラクターのような体形に免じて許してほしいと思います。
- A2) 例会・担当委員会の出席率、運営が気にかかるのは当然ですが、会員企業の動向も会費納入のこともあり、気にかかることです。
- A3) 飲み過ぎて記憶がないこと多々有り、60点
- A4) 一部の会員を除き参加意識が薄い。参加することは大切であるが、その上で参加意識を持って行動することも大切。
- A5) 私も今年6月で卒会になります。出来る範囲のことを精一杯頑張る、思い出深いものにしたいです。なお、トライアスロンまでは、現役会員の気持ちで取り組みますので宜しくお願いします。



釜田副会長

- A1) とにかく早かったように思います。国際交流委員会では、中国先遣隊として9月に行き、中国人の考え方、すさまじい程の経済の発展、溢れるほどの失業者。すごく勉強になりました。韓国との交流事業等盛り多い半年に思います。モラル委員会での半年を振り返ると、教育現場から見た親子のモラルを毎月各方面より(幼稚園園長・小学校教頭・教育長等)講師先生を迎え活発な質疑応答が行われ良い勉強をさせていただいている事を委員長その他のメンバーに感謝である。
- A2) やはり自分の担当する委員会はかわいいもので、例会・委員会の出席率は気になりますね。後はこの不況の時代ですから、委員会での挨拶のときみんな勝負に負けることなく勝ち組に残ろうと氣勢を上げつつみんな頑張れの気持ちでいっぱいです。
- A3) 50点ぐらいかな。
- A4) まず言いたいのは、新入会員に元気を出してほしいこと。不況の中、中央会に出してもらっているという気持ちを強く持ち、会社へ何かを持ち帰ってほしい。それから半年度事業(委員会)の見直し、自分の勉強したい委員会への配属願望等皆一度考える時期ではなからうか。
- A5) ラストスパートに向け、やりっぱなしにならないように気をつけてまとめの委員会であってほしい。いよいよこの山陰にも本格的な不況の嵐がやってきております。ひとりの会員も脱落することなくこの嵐に立ち向かっていきたいと思います。



中津尾副会長

- A1) はじめの頃は前年度からの引継ぎがうまくできず、岩田直前会長に叱られたりしていましたが、少しずつ加速が出来てきたような気がしています。役員会も活発化してきましたし、委員会も個性が出てきていて面白い。「思いを形に」が実践されてきているのではないのでしょうか。
- A2) 中央会の活動を「苦勞」という感覚で考えたくないの持にありません。会長以下、会員全員が与えられた役割を如何に果たしていくかという「修行」をしていると私は考えています。時々、「たいへんだなあ」とぼやきたくなることはありますが、それは苦勞とは違いますね。
- A3) 55/100点
- A4) 中央会の中で友人を作ることは大切なことだと思います。しかし、中央会を「仲良しクラブ」と思ってもらっては困ります。仲は良いけれども、時には激論を交わす。しかし、跡を引くことが無いような関係が理想です。また、サロンのように思われてもいけませんね。例会・委員会に出席、または出席しようとする努力もせずにレクリエーション等にだけ出席して中央会活動に参加しているなどと思うのは言語道断。例会・委員会に出席することに執念を持ってほしいと思います。
- A5) 担当しているきずな委員会、情報メディア委員会が松本、畠山委員長のもとたいへん面白い個性をそれぞれに発揮してきています。この勢いで両委員会が今期の総仕上げを立派にされるようお手伝いをしたいと思います。副会長という職務は「究極の中間管理職」ですから、担当する委員会や会全体が輝いて初めて職務を果たしたと言えると思いますので出来るだけの努力をしたいと思います。私事で恐縮ですが、この原稿を依頼された後に、私は会社の人事異動で出張支店に勤務することとなりました。中央会は会社の厚意で継続できることとなりました。いままでもより活動が出来ず、多少ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、「中央会との遠距離恋愛」を乗り越えられるよう頑張ります。

2月度委員会報告

きずな委員会

平成15年2月7日(金) 於: 国指定重要文化財「門脇家住宅」 出席者/13名

内容/講師講演

講師: 門脇卓爾氏

演題: 「哲学ノススメ」

情報メディア委員会

平成15年2月4日(火) 於: (株)インサイト 出席者/9名

内容/①情報政策提言

②TSCホームページメンテナンス

政治行政委員会

平成15年2月6日(火) 於: ホールサムインかいけ 出席者/11名

内容/3月担当例会打合せ

モラル委員会

平成15年2月7日(金) 於: ホールサムインかいけ 出席者/9名

内容/講師講演

講師: 中村昌哲 O B

演題: 「市議会から見たモラル」

国際交流委員会

平成15年2月6日(木) 於: 米子食品会館 出席者/11名

内容/3月中国企業視察最終打合せ

経営委員会

平成15年2月7日(金) 於: 米子食品会館 出席者/8名

内容/講師講演

講師: (株)山陰合同銀行 取締役米子支店長 宇野松人氏

演題: 「中小企業の経営のあり方について」

広報委員会

平成15年2月5日(水) 於: 松江鮮魚店 出席者/11名

内容/ハンサム3月号担当割

総務委員会

平成15年2月6日(木) 於: 米子食品会館 出席者/9名

内容/中央会の将来について語る